

年末年始に向けた口蹄疫等の防疫対策徹底を！

これから年末年始及び春節を迎え、海外からの観光客の増加、人や物の動きが活発になることが見込まれます。

韓国、北朝鮮、ロシア、中国等のアジア周辺諸国では口蹄疫の発生が継続、又は拡大しており、日本への侵入リスクは依然として高い状況です。

また、本年11月には国内で初めて牛農場でランピースキン病が発生しました。ランピースキン病対策として、サシバエ等の吸血昆虫対策の徹底や農場間で伝播リスクの低減を図るために、車両消毒・車体や車内への殺虫剤の散布を実施するなど感染拡大防止対策を実施してください。

現在日本で流行していない家畜伝染病への危機感を高め、今一度、農場への家畜伝染病侵入防止対策を徹底しましょう。

病原体侵入防止のため、

- ・ 関係者以外の農場立入を制限してください。
- ・ 発生地域への渡航を自粛してください。
- ・ 海外から肉製品を違法に持ち込むことが無いよう従業員に周知してください。

消毒及び衛生管理区域への病原体持込み防止の徹底！

（１）衛生管理区域への病原体の侵入防止

- ① 看板の設置等により、必要のない者を衛生管理区域に立ち入らせない
- ② 入口付近に車両消毒設備を設置し、車両を入れる者に車両の消毒をさせる
- ③ 入口付近に消毒設備を設置し、立ち入る者に手指の消毒及び靴底の消毒をさせる

（２）野生動物等からの病原体侵入防止

- ① 給餌設備、給水設備等への野生動物の排せつ物等の混入の防止
- ② 飲用に適した水の給与

飼養牛の異状を発見したら直ちに通報してください！

【家畜保健衛生所への届出が必要となる「口蹄疫の特定症状」の例】

（農水省ＨＰより）



泡沫性流ぜん（よだれ）



舌の水疱



舌のびらん（ただれ）

３９．０度以上の発熱、よだれ、口やひづめ等に水疱・びらんが認められたら、家畜保健衛生所へ届け出ることが義務づけられています。

家畜に異状が認められたら、連絡をお願いします！
庄内家畜保健衛生所 ０２３５－６８－２１５１
（夜間・休日は携帯に転送されます）

ランピースキン病の感染拡大防止！

車両や人による

農場から農場への伝播を防止しましょう

ランピースキン病は、主にサシバ工等による機械的伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります。

車両がウイルスを運ばないために

農場の自家用車、集乳車、飼料運搬車、獣医師、人工授精師、薬品・資材業者、家畜運搬業者、関係団体など農場に出入りする全ての車両

- 農場に出入りする**全ての車両**は**洗浄・消毒、殺虫**を徹底！
- **車内に入り込んだサシバ工等**も、確実に殺虫！

特に寒い時期、サシバ工等は温かい車両に集まりやすく、車内にも侵入します。

車体に
集まったハ工



資材（牧草ロールや敷料など）にもサシバ工等が入り込む可能性があるため、搬入時確認！

人がウイルスを運ばないために

特に獣医師、人工授精師等、牛に直接触れる者

- 農場ごとに**専用の衣服、長靴（ブーツカバー）**交換の徹底！
- **注射針、人工授精用器具等**は確実に一頭ごとに交換又は消毒！
- **聴診器等、皮膚に接触する器具**も適切に消毒！

農場から農場への感染拡大防止！

